

二十曲峠～石割山～大平山～紅富士の湯 山行報告

【山城】 富士山

【ルート】 二十曲峠～石割山～大平山～紅富士の湯

【登山方法】 日帰り ハイキング

【日程 天気】 2019年1月19日（土）

【参加者】 CL室 昌美 SL 吉瀬英子 鈴木愛子（記録） 会員外1名

【行程】 千葉 5:55⇒バスタ新宿（高速バス利用）7:15 発⇒富士急ハイランドで下車 9:00⇒タクシーで二十曲峠へ 峠着 9:35⇒二十曲峠で出発前に地形図とコンパスで地図読みの学習をする。これ以降、各山頂で地図読みの学習をする。
二十曲峠発 10:05 登山開始→石割山 11:30 着 12:00 発→平尾山 12:25→大平山 13:20→飯盛山 14:00→大出山入口→紅富士の湯 15:15→富士山 山中湖高速バスバス停 16:55 発⇒バスタ新宿着 19:15→21:00 頃 帰葉

【内容】

バスタ新宿で高速バスに乗り、富士急ハイランドで下車。そこからタクシーで二十曲峠へ向かう。二十曲峠からの眺めは、富士山は大きくそびえ、南アルプスもくっきり良く見え、素晴らしい眺めであった。富士山をバックにタクシーの運転手さんに写真を撮ってもらう。

出発前に、地形図とコンパスで、みんなで地図読みの学習をする。

会員外の方は室さんの娘さんの友達で、地図読みの学習に興味深々で、「地図読みって楽しい」と言っていた。途中の山頂でも自分から積極的に学習し、進む方向を確かめていた。若い人がそう思ってくれ、私達も嬉しかった。



二十曲峠がからの富士山

腹ごしらえをして、10:05 二十曲峠を出発。

「前日の天気予報は、風が強く、石割山の辺りは風速 15 メートルの風が吹く予報が出ているので風対策と寒さ対策をしっかりとる様に」と、リーダーから連絡をもらう。風と寒さは夕べのうちに東へ抜けてくれたのか、風もなく寒さも思ったより強くない状態で登山開始できたことが嬉しかった。

石割山への道は、最初は雪は全然なかった。10分位歩くと、うっすらと雪がある所と、ない所とあった。20分位歩くと、雪が白い所が多くなり、黒い土が見えている状態が少なくなってきた。砂袋の上に雪がある状態で、滑りやすく、砂袋を避けて両脇の滑らない所を選んで登る。



二十曲峠から歩き始め間もない所



歩き始めて20分位の所



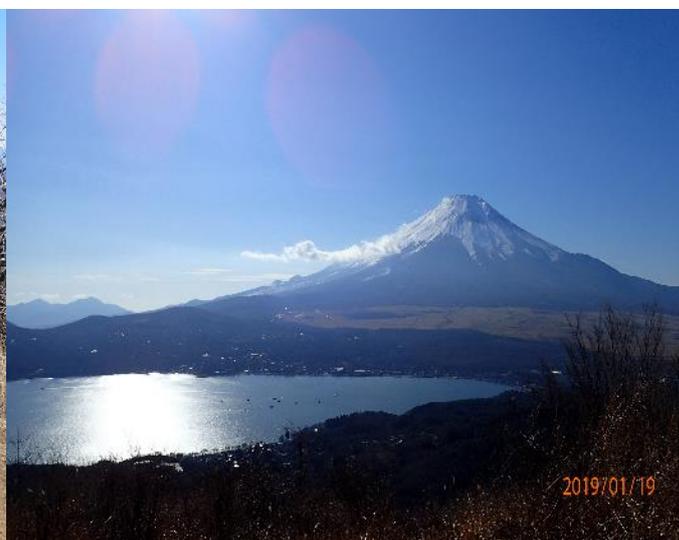
大平山の手前の丸太の階段

登山道の両脇の木々は葉を落とし、木々の間からずっと富士山、周りの山々も見え、励まされる。空は真っ青で、空気も綺麗で、気持ちよく登る。頂上までに出会った人は、登山者一人で、私達だけで貸し切り状態であった。

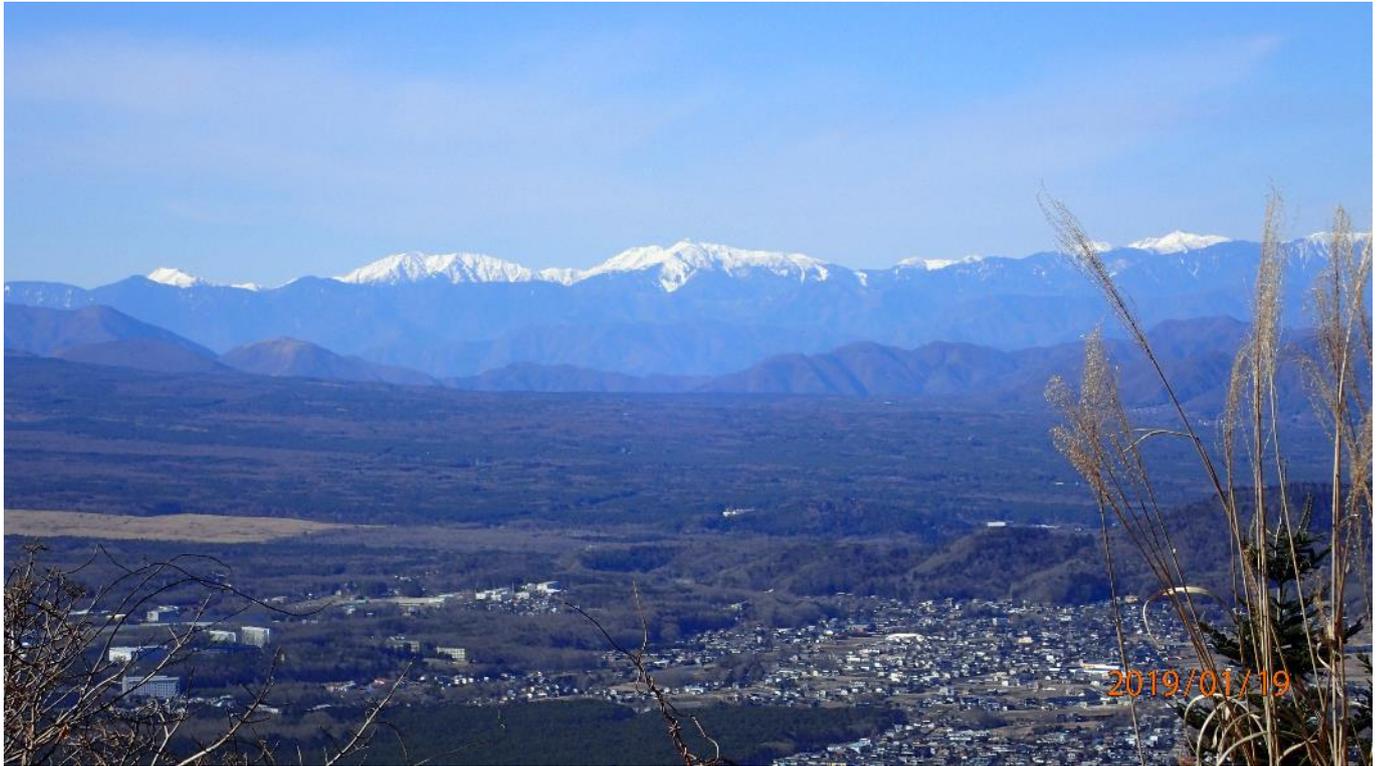
頂上には私達の外、10人位登山者がいた。甲斐駒、仙丈、鳳凰三山、北岳、間ノ岳、農鳥岳、荒川三山等々が真っ白に雪をまとい、青空の下、くっきりと良く見え、素晴らしい、美しい眺めで、頂上に30分も長居をしてしまった。



石割山頂上にて



大平山からの富士山と山中湖



石割山頂上からの南アルプス（この写真には写っていないが、右方向に甲斐駒、鳳凰三山等々が見えた）

そして平尾山に向かう。土がざれていて、急な坂の下りを、慎重に下る。雪は全然ない。小さなアップダウンを繰り返し、平尾山に着く。ここからも富士山、南アルプスの眺めが素敵であった。

平尾山からは東海自然歩道となる。（山中湖周辺の東海自然歩道は、富士吉田～忍野八海～大平山～平尾山までをいうとの事）

平尾山から大平山に向かう時、大平山の手前、長い丸太の階段の下りが続き、その後小さなアップダウンがあり、そして今度は丸太の階段の登りがあり、間もなくして大平山山頂に着いた。丸太の階段の上り下りには難儀し、きつかった。

大平山山頂からの富士山と山中湖のパノラマが素晴らしかった。

更に歩を進め、アップダウンを繰り返し、飯盛山、長池山を過ぎた分岐点で、忍野八海方面への東海自然歩道と別れる。大出山入口でアスファルトの道路にぶつかり、そこを下り、明神前の富士山山中湖バス停（高速バスのバス停）をめざす。バス停に着き、帰りのバスの時間 16:55 を確認し、紅富士の湯へ向かう。紅富士の湯で汗を流す。紅富士の湯は混んでいたが、温泉につかりながら、雄大な富士山を眺められ、至福のひと時であった。そして 16:55 の高速バスに乗り、21 時頃 帰葉。

○今回のハイクを終えて

- ・好天に恵まれ、風もなく、帰りのバスに乗るまで、ずーっと雄大な富士山や南アルプスを眺めながら、楽しく歩けた事に幸せを感じる一日であった。ご一緒した皆さん、色々有難うございました。
- ・私達が今回歩いたコースは、富士山を眺めるハイキングとしては、とても良いです。絶景に出会えます。是非ちば山の皆さんにお勧めします。